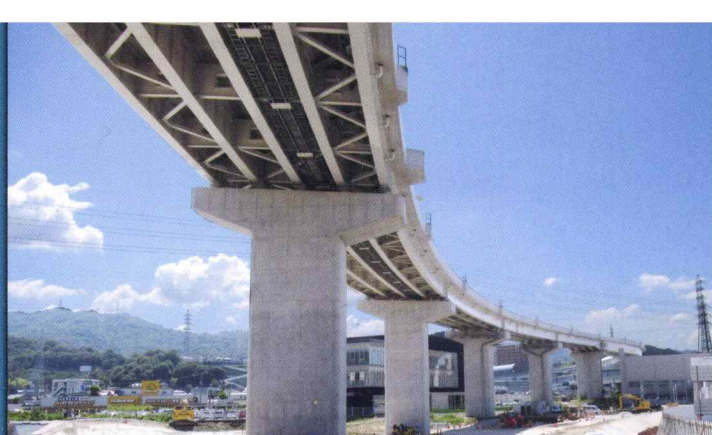


より美しく、
明日へ。



株式会社 鴻治組



D

明治から令和へ、地域とともに。

1882(明治15)年の創業以来、当社は建設を通じて広島発展に貢献してきました。
 主な事業内容は道路、トンネル、上下水道、ダムなどの土木工事と、
 学校、物流施設、オフィスビル、マンションなどの建築工事です。
 西風新都インターチェンジやマツダスタジアムの建設も手がけました。
 また、自然災害が発生した場合には現場に駆け付け、応急復旧工事も行っています。
 地域社会の発展を支え、安全を確保していきながら、令和の時代も広島とともに歩んでいきます。

当社の企業理念は「美しい仕事をする」です。
 美しいとは、外見のきれいさだけでなく、整理整頓された現場において、
 安全で質の高い施工をすることを意味します。
 建設業は請負業であり、顧客の依頼に基づいて工事を行います。設計図通りの仕事をするだけでなく、
 結果としてより美しい地域社会をつくり上げることを企業の目的としています。

これまで、これからも
 地域社会の発展に貢献していきます。

1882(明治15年) 土木請負業として創業

1884(明治17年) 宇品築港工事に参画

1952(昭和27年) 株式会社鴻治組を創立

1977(昭和52年) 府中ニュータウン(瀬戸ハイム)造成工事

1998(平成10年) ISO9001を認証取得

2001(平成13年) 広島西風新都インターチェンジ建設工事

2009(平成21年) 新広島市民球場(MAZDA Zoom-Zoomスタジアム)建設工事

ISO9001・ISO4001を統合し、認証取得

2014(平成26年) 広島豪雨災害復旧工事

2017(平成29年) スタートラム広島新築工事

2018(平成30年) 西日本豪雨災害復旧工事(広島市・坂町・府中町・海田町)



▲2001(平成13年)
 広島西風新都IC建設工事



▲2009年(平成21年)
 MAZDA Zoom-Zoomスタジアム
 建設工事



▲2017(平成29年)
 スタートラム広島新築工事



▲2018(平成30年)
 西日本豪雨災害復旧工事
 (広島市・坂町・府中町・海田町)

挑戦する社員の背中を押す育成制度があります。

学生時代は、授業で示された課題を克服するために頑張ってきたと思いますが、
 現実の社会では課題は「与えられる」ものではなく、自分で「見つけ出す」ものです。
 自ら目標を設定し、どんな困難にも挑戦していく意欲を持ち、
 めげずに努力を続ける人材を、私たちは求めています。
 各種資格取得の支援をはじめ、皆さんの成長を企業としても全力でバックアップします。
 また、建設業においてもドローンによる測量や機械施工による自動化など、デジタル技術の活用が進んでいます。
 自ら新しい技術を積極的に活用し、社会の変化に対応しながら、
 これからの持続可能な社会を築き上げていく誇りと熱意を常に持って仕事に取り組んでほしいと願っています。

資格取得支援で専門知識向上を目指しています。

当社では、全社員に資格取得の支援を行っています。
 建築士(一級・二級)や建築施工管理技士(一級)、土木施工管理技士(一級)、
 その他国家資格の取得を会社全体で支援。
 働きながら外部講習に通い資格を取得できるサポート制度があります。
 学校の費用・テキスト代は全て会社負担し、
 多くの社員が利用し各種資格を取得しています。

対象資格

- ◎一級建築士・二級建築士
- ◎一級建築施工管理技士
- ◎一級土木施工管理技士
- ◎宅地建物取引士 他

これからの現場を支えるDXを推進しています。

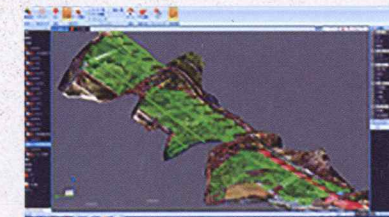
当社では、現場における生産性向上を目的として、
 工事におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。

DX推進事例

- レーザースキャナーを用いた3次元起工測量と設計データ作成
- 3次元設計データに基づいたICT建設機械による施工
- ドローンを活用した測量



▲レーザースキャナーによる測量



▲現地測量図に完成断面を投影した3次元設計データ



▲自動制御装置を設置したブルドーザーによる敷きならし



▲自動制御装置を設置したバックホーによる法面整形



▲ドローンを活用した測量研修



仕事では、人を大切にすることを心掛けています。職人のみなさん、住民のみなさん、自治体の方、上司。円滑にコミュニケーションを取ることが、美しいものづくりには欠かせないと考えています。

ユーティリティープレイヤーを目指せる環境に、面白さを感じます。

(土木部 K.Sさん/工学部卒)

入社6年目にして、現在早くも6つ目の現場を担当しています。下水道の推進工事に始まり、これまでさまざまな現場で多職種を経験してきました。何でもできるユーティリティープレイヤーをめざせる環境が整っているのは、当社の特色です。土、コンクリート、あるいは街中、山の中、さまざまな条件によってやるべきことは変わってきます。その経験の一つひとつが自分の血となり肉となっていきます。上司も、若手が自ら気づきを得られるような教え方をしてくれます。例えば測量でミスがあったとすると、それを実地的確なタイミングで指摘し、フォローもしっかりしてくれます。机上の論理ではなく、まさに実践で学んでいることを実感しています。

現場の数だけ思い出もあります。河川補修工事では、地域住民の方から「次は所長として来てね」と言っていた、とても感動しました。入社3年目のあるバイパスの橋梁の下部工事では、初めて現場代理人を任されました。自治体の担当者に名前を覚えていただき、最後に「次もお願いします」と言われたときは、喜びもひとしおでした。

施工管理の仕事は、何を優先するか、そのときどきでの確かな判断が問われる世界でもあります。一人ひとりの中に「ぶれない軸」が求められる仕事であるため、自分の思いをちゃんと貫ける人が多いと思います。私も、いつか一つの現場を任されるようになることが目標ですが、そのためにはさらなる経験が必要です。現場には30代前半の若い所長もいるので、自分も早くそうなりたいと夢が膨らんでいます。

手がける案件の幅広さが魅力。ワークライフバランスも満足しています。

(建築部 N.Tさん/工学部卒)

建築部で施工管理を担当しています。工場の内装と外構工事からスタートし、豪雨災害の復旧作業を経て、大学建物の改修工事、消防署の新築工事、そして現在は工場の新設工事に携わっています。現場では、数量拾い(積算)、実施図の作成、工事写真の撮影などが主な業務です。工事写真は消防署新築の際に初めて経験したのですが、公共建築工事標準仕様書をしっかり読み、自分なりに考えて撮影した結果、最終的に発注者から高い点数(工事成績評定)をいただいたことは大きな自信になりました。

仕事は、慣れてくるとマンネリになってしまいがちですが、鴻治組では取り扱う案件の幅が広いので、毎回新鮮な気持ちで現場に臨むことができます。いつの日かスポーツ施設を手がけることが、現在の私の夢です。また、あらゆる職種を経験できることも魅力です。私も入社2年で豊富な経験を積んだことが、すべて自分の財産になっており、その経験を糧に、一級建築士や一級建築施工管理技士の資格取得を目指しています。

鴻治組に感じるのは、チームワークの良さ。これは、協力会社の職人さんも含めて言えることですが、同じ目標に向かって一丸となることで仕事への達成感が生まれます。一方で、2019年に結婚し、翌年子どもが生まれるなど、プライベートも充実しています。休日は、家族と過ごしたり草野球をやったり、仕事と私生活のワークライフバランスはとても良い状態が保たれています。



自分にはできない、人を惹きつけるような仕事がしたいといつも考えています。「あいつなら大丈夫」と安心して任せてもらえる喜びを感じます。

知識を生かして経理業務に。オフィスからものづくりを支えています。

(経理部 H.Kさん/商学部卒)

当社の事務職には「営業」「総務」「経理」などの部署があります。私は、大学で簿記や会計を学んだことから、その知識を生かせる経理部に配属されました。現在は日々の経理業務や協力会社への発注業務を通して、バックオフィスから当社のものでづくりを支える立場です。JV(共同企業体)が立ち上がると、それに合わせてお金の流れも変わります。これは建設業界ならではの面白さです。ひとつのJVが解散するときには寂しさもありますが、最後までそこに携わることができた達成感を通して、自分自身の成長も感じます。今後は、決算業務に中心的な存在として関わることが目標。見えるものが違ってくるはず。そのためには、日々の業務の積み重ねを疎かにしてはいけなさと肝に銘じて仕事に取り組んでいます。



土木工事

道路、トンネル、橋梁、砂防、造成、上下水道整備など、人と自然の調和を大切にした社会基盤整備を支えています。



▲熊野造成(2014年3月)



▲高速5号線 温品JCT(2015年5月)



▲緑井砂防(2019年1月)



▲熊野黒瀬トンネル(2013年10月)



▲小用港護岸(2014年9月)



▲東広島バイパス 海田高架橋橋脚(2015年11月)

建築工事

工場、オフィス、倉庫、住宅、学校からスポーツ施設まで、建物の設計、施工、リニューアルを通じ、快適な街づくりを支えています。



▲MAZDA Zoom-Zoomスタジアム(2009年3月)



▲県営熊野住宅(2020年2月)



▲音戸高校(2014年3月)



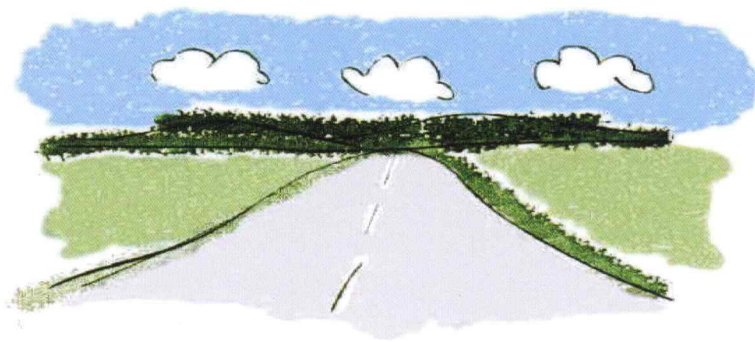
▲江田市消防本部庁舎(2019年10月)



▲パークコート平和公園(2005年2月)



▲T社苗代工場(2018年3月)



◆会社データ

社 名：株式会社 鴻治組

本 社：広島県広島市安芸区船越南1丁目2番6号

創 業：明治15年

創 立：昭和27年

事業内容：総合建設業(土木工事、建築工事、不動産ほか)

【土木工事】道路、トンネル、砂防、橋梁、護岸、上下水道ほか

【建築工事】公共施設、教育・スポーツ施設、オフィス、工場ほか

◆問い合わせ先

TEL:082-822-5211

<https://koujigumi.jp/>



鴻治組

検索